

京阪沿線魅力再発見2025

ぶらり街道めぐり

～歳時記をたどる路編～

現在も関西の重要な「路」となっている京街道。これに沿って走る京阪沿線では一年を通して様々な行事が行われます。
今回は「歳時記」を紐解きながら、ゆかりのまちをぶらりめぐってみませんか。

特別講座 淀川水系における遊び女と白拍子 —河川が育んだ芸能文化の世界—

平安時代から鎌倉時代にかけて、淀川水系は交通の要衝としてだけでなく、芸能文化の発展の舞台でもありました。本イベントでは、淀川流域で活躍した遊び女や白拍子に焦点を当て、彼女たちの歴史や文化的役割を紐解きます。講演や実演を交えながら、彼女たちの舞や音楽がどのように人々を魅了し、時代を超えて受け継がれてきたのかを探ります。伝統芸能に興味のある方はもちろん、歴史や淀川の文化に触れたい方にもおすすめの内容です。

2025年5月31日(土) 募集受付締切 5月18日(日)
14:00～16:00(13:30開場)

会場:大阪府立国際会議場 10階1003会議室
(京阪電車 中之島駅下車2番出口すぐ)

定員:150名 | 参加費:無料

登壇:太田 達(有斐斎弘道館 理事、立命館大学教授)、
松原 史、分林 寛奈子(白拍子研究所)

内容:白拍子の歌舞(実演)、講話(太田 達)、鼎談

募集申込方法

京阪電車WEBサイト

二次元コードにアクセスし、必要事項を記入の上、ご応募ください。

<https://www.keihan.co.jp/navi/burari/navi/form/>



「keihan.co.jp」「movabletype.net」ドメインのメールが必ず受信できるよう設定をお願いします。

※応募多数の場合は抽選になります。1度に2名まで申込可能。
当選の方のみ、開催前約1週間を目途にメールを送信いたします。

白拍子研究所

院政期から鎌倉時代に流行したという幻の芸能「白拍子」について、実践と研究を重ねるべく、2015年9月に「今様白拍子研究所」として設立。2019年1月「白拍子研究所」に名称変更。白拍子を様々な角度から研究し現代における再現につとめ、神社仏閣での奉納活動を行うほか、文化振興を目的に、イベント、お茶会、講座、近年では文化庁の国際交流事業における海外との交流講座などにも多数出演。

松原 史

(白拍子研究所 事務局長)
静岡県生まれ。京都大学大学院人間・環境学研究科博士後期課程修了、博士(人間・環境学)。中世の文化・社会・服飾史の視点から白拍子の研究を進めている。

分林 寛奈子

1997年京都市生まれ。幼少期より能楽観世流シテ方の祖父と父に師事し、12歳まで能の子方(子役)をつとめる。京都大学文学部卒業後、ロンドン大学ゴールドスミス校にてアートマネジメントの修士号を取得。



有斐斎弘道館

有斐斎弘道館

有斐斎弘道館(ゆうひさいこうどうかん)は、江戸時代を代表する儒者、皆川淇園(みながわきえん/1734～1807)の学問所「弘道館」址に建つ文化的建造物を保存しつつ、江戸時代の教養文化を楽しみながら考え、広めていくための活動を行っています。



大阪府立国際会議場



グランキューブ大阪

Osaka International Convention Center

水都大阪の中心地「中之島」に立地し、国際会議をはじめコンサート・展示会等多目的にご利用いただける施設として、国籍を問わず多くの人に親しんでいただけるよう、様々な交流の場と使い易さに重点をおいた質の高いサービスを提供しております。館内には、大阪府所蔵のアート作品24点を展示しております。



講座 歳時記をたどる路編

さまざまな文化を生んだ京都。そこには、信仰、宗教が必ず関わってきました。とりわけ京都の日々の暮らしを彩る年中行事は、世代を超えて受け継がれ、神仏や自然に対する畏敬の念と、豊かな生活文化を育んでいます。本年度は季節ごとの「歳時記」に焦点をあて、ゆかりの深い京阪沿線の土地を取り上げながら、京都の“知”を紐解きます。

2025年4月19日(土) 10:30~12:00

出町柳駅と下鴨神社【葵祭】

若狭・小浜へと続く鯖街道の起点である出町柳は様々な食文化が発達した場所です。京都の学生やドラマ・アニメの聖地とも言われる鴨川デルタは平安京創生の約1200年前からみそぎの地として捉えられてきました。水辺祭祀の視点から考えます。



2025年5月17日(土) 10:30~12:00

鞍馬駅と鞍馬寺【五月満月祭】

都の北方の鎮守である鞍馬の地は牛若丸などの様々な伝承があります。近くに鎮座する由岐神社の例祭で日本三大火祭でもある鞍馬の火祭も有名です。鞍馬の地は炭・薪など燃料を運ぶ都への中継基地として発達しました。現在も残る木の芽煮などにもその往古の姿が見て取れます。



2025年6月28日(土) 10:30~12:00

二軒茶屋駅と上賀茂神社【禊と祓/夏越の祓】

鞍馬街道は京の七口、鞍馬口から続く街道で二軒茶屋には昭和のはじめまで、実際に二軒の茶屋がありました。二軒茶屋駅の西側には上賀茂神社のご神体である神山が鎮座し、山の南に位置する上賀茂神社では6月に夏越の祓が行われます。



2025年7月12日(土) 10:30~12:00

祇園四条駅と八坂神社【祇園祭】

室町期の絵画資料によると、四条河原町付近に八坂神社の鳥居が描かれています。聖俗のエリアの結界でしょうか。祇園祭も、神輿が町方に渡御する構造とそれを迎える町方の鉦の祭りの二重構造になっています。祇園四条駅周辺をそのような視点で考えていきます。



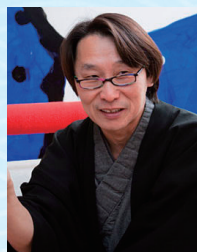
【場所】有斐斎弘道館 京都市上京区上長者町通新町東入元土御門町524-1

【アクセス】京阪電車 三条駅乗換、京都市営地下鉄 今出川駅下車 徒歩約12分 | 定員：30名 ※申込みは定員に達し次第終了

【参加費】1 会場チケット(菓子・呈茶付き) 3,000円 ※菓子・呈茶は10:00~10:30

2 後日アーカイブ配信チケット 2,000円 (講座終了後配信)

【講師】太田 達



京都市生まれ。立命館大学食マネジメント学部 教授。有職菓子御調進所 老松当主。有斐斎弘道館理事。歴史、信仰、食文化を研究する一方、国内外で茶会を数多く開く。NHK『ようこそ先輩』、『美の壺』、など多数出演。

講座のお申し込み

有斐斎弘道館ホームページ
「弘道館の講座」

<https://kodo-kan.com/classes/>

お問い合わせ TEL.075-441-6662 (10:00~17:00)

